

第1回岐阜県慢性腎臓病対策推進協議会 議事概要

1 日 時 令和2年10月12日(月)14時～15時

2 場 所 OKB ふれあい会館 401 会議室

3 参加者 12名

	所属	氏名	役割	備考
1	岐阜県総合医療センター	村田 一知朗	日本腎臓病協会慢性腎臓病対策部会岐阜代表	
2	岐阜県医師会	平野 良尚	岐阜県医師会	欠席
3	岐阜県医師会	西野 好則	岐阜県医師会	
4	岐阜大学医学部附属病院	吉田 学郎	腎臓専門医	
5	岐阜市民病院	高橋 浩毅	腎臓専門医	
6	大垣市民病院 岐阜県糖尿病対策推進協議会	傍島 裕司	腎臓専門医 糖尿病専門医	Web
7	岐阜大学大学院 岐阜県糖尿病対策推進協議会	矢部 大介	糖尿病専門医	
8	岐阜県薬剤師会	井深 宏和	薬剤師代表	
9	中濃厚生病院	廣瀬 恭子	病院看護師代表	
10	全国健康保険協会岐阜支部	作倉かおり	医療保険者代表	
11	下呂市	福井 郁子	市町村保健師代表	Web
12	中津川市	糸井 晃美	市町村管理栄養士代表	Web
13	岐阜保健所	二村 真紀	保健所代表	

4 事務局

1	岐阜県健康福祉部保健医療課	赤尾 典子
2	保健医療課健康推進室	牧村 潤一
3		森 千夏
4		小川 麻里子

■挨拶（岐阜県健康福祉部保健医療課長）

■議事

- 1) 地域における医療連携体制の構築について
 - (1) 岐阜県 CKD 医療連携ワーキンググループの設置について
 - (2) 健診からのアプローチについて
- 2) 人材育成について
 - ・岐阜県慢性腎臓病対策推進講演会について
- 3) 普及啓発について
 - ・世界腎臓病デーに向けた啓発等について
- 4) その他

1) 地域における医療連携体制の構築について

(1) 岐阜県 CKD 医療連携ワーキンググループの設置について

- ・マニュアル等に関しては、以前の作成から時間も経過している。糖尿病と腎臓病の課題なども踏まえ、ワーキンググループで糖尿病専門医等と連携しながら改正の協議を進めていく。

(2) 健診からのアプローチについて

- ・健診で発見された CKD 素因のある人等が、指導対象に含まれないことは非常に問題。とくに原疾患がなく、蛋白尿が出ていたり、GFR が低下する人が多いのではないか。
- ・糖尿病性腎症重症化予防プログラム対象者で CKD 該当者は 29% と高いが、健診受診者全体の CKD 該当者の割合としては数パーセントである。糖尿病性腎症重症化予防プログラムだけでは一部にしか介入できない。何らかスクリーニングができるスキームがなければ、適切な指導介入ができない。
- ・下呂市では、保健師・栄養士が保健指導教材を使い、住民へ理解してもらえるよう保健指導をしている。CKD 対策が始まった当初は、住民も尿や GFR が分からない状態だったが、住民に対して、繰り返し、繰り返しアプローチし、今では住民の理解も高まっている。保健師・栄養士だけでなく、住民や関係機関など地域一丸で取り組まないと進まない。
- ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムを推進する中で、下呂市や中津川市ほどの規模であれば、取組みが進みやすいが、大規模な市では取組みが進まない印象がある。人口に対する保健師数の課題、かかりつけ医との連携でのハードルなどがある。アクションプランのように、次に何をしてほしいかをルールとして作り、落とし込んでいくと大きな市でも動きやすくなるのではないか。

(3) 人材育成について

- ・CKD 対策に関連づけた企画を、今後も継続していけるとよい。

(4) 普及啓発について

- ・2月に新聞広告でCKD対策を周知することの了承。
- ・県薬剤師会では、お薬手帳に貼るCKDシールの検討を進めていた。グレードによる色分けで、腎機能の状態が一目でわかるようにと検討する中で、グレードの基準をどうするか、誰がシールを貼るのかという点で、協議が進んでいないが、協議会での意見を踏まえ、再度動き出したい